

此條ハ即草烏頭ニシテ、トリカブトノ山中自然生ナリ、故ニ其毒川烏頭ヨリ甚シ、深山ニ多シ、苗ハトリカブトニ同シテ瘡小、葉ハ土地ニ因テ小異アリ、花色モ亦然リ、京師ニテハ藥肆ニ金剛山ト稱スル者ヲ良トス、即河州金剛山ノ自生ナリ、凡テ烏頭ハ根ノ先ノトコロ曲リテ尖リ、烏ノ首ノ如シ、又其先二ツニ分レタルヲ烏喙ト云、○中略

白附子 一名章陽羽玄西陽雜俎 新羅白肉輟耕錄 白波串本草

和產詳ナラズ、藥肆ニ漢渡アリ、眞物ナリ、其形一頭粗ク一頭細ク、附子ノ形ノ如シ、コレ嫩根ナリ、舊根ハ節アリテ節參ノ如シ、ヒメウヅニ充ツル古説ハ穩ナラズ、ヒメウヅハ一名トシボサウツヲ子グサ、此草夏ハナシ、秋舊根ヨリ葉ヲ生ズ、冬ヲ經テ夏ノ初ニ枯ル、葉大サ一寸許、草烏頭ニ似テ小ク薄ク、又樓斗菜オダマキ葉ノニモ似タリ、冬ヨリ春ノ初マデハ、葉背紫色ニシテ美シ、春莖ヲ抽コト一尺許、葉互生ス、梢葉ノ間ニ細キ枝ヲ分チ、枝ゴトニ白花アリテ倒垂ス、大サ一分餘、六瓣狹細ナリ、一花ゴトニ四莢攢生ス、濶サ一分、長サ二分許、熟スレバ一方ヨリ縦ニ裂ケテ細子出ヅ、三月ニ子熟シテ苗葉枯ル、根ハ數年枯レズ、形雷丸ノ如長サ五分、或ハ一寸許、外皮黑ク肉白シ、
〔草木育種後編下品〕附子本草 和名於字和本名抄 漢名僧鞋菊汝南園史 享保七年、將翁先生治命にて蝦夷にいたり、採り得て官園及吹上の御畦に栽ゆ、白花のものは奥州鍵とりといふ地にて採り、官園に上る、此白花のものを春月栽て、油かすを根に少し入て、秋月掘り出し、製してよし、野土赤土少陰ある處もよし、灌園先生園中に蔓生にして碧花を開き、竹木にまともものあり、
〔剪花翁傳四月開花〕烏頭トリカブト 花中紺色又白あり、至て上品とす、開花九月土旬なり、方三分陰、地二分濕土回塵、肥淡小便、寒中三度、又花前に二度澆ぐべし、株寒中に分べし、

〔草木六部耕種法三需根〕我述等諸藥物ヲ作法

烏頭モ野土ニ應合スルコトハ、鬱金、莪朮等ト同ジケレドモ、其性ノ相反スルコト氷炭ノ如ク、氣